

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ES12B002	学校マネジメントの実践研究1 (Theory and Practice of School Management 1)					学校経営コース科目						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	1	大学院教育学研究科			氏名 山崎清男、福本昌之、有定裕雅 E-mail yamasaki (山崎)、mfukumoto (福本)、arisada-hiromasa (有定) 内線 7542 (山崎)、7978 (福本)、6130 (有定)						
授業の概要	スクールリーダーに求められる資質能力について理解するとともに、学校をマネジメントの観点から具体的に分析し、学校の課題を把握し、分析する力を養成する。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	スクールリーダーに求められる資質能力を理解する											
目標2	学校をマネジメントの観点から捉える											
目標3	学校マネジメント実践(ビジョン形成、資源活用など)について理解する											
目標4	学校の課題をマネジメントに関連付けて分析し、解決策を提案する											
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容	1 インTRODクシヨN: 共有ビジヨNの形成											
	2 スクールのリーダーに求められる資質能力(1)「校長の専門職基準」基準2, 3の検討											
	3 スクールのリーダーに求められる資質能力(2)「校長の専門職基準」基準4, 5の検討											
	4 スクールのリーダーに求められる資質能力(3)「校長の専門職基準」基準6, 7の検討											
	5 実践としてのマネジメント(1) ミッション・ビジョン・教育目標											
	6 実践としてのマネジメント(2) 学校経営計画の要件											
	7 学校の資源(1) 人的資源論											
	8 学校の資源(2) 教員評価の実務と留意点											
	9 学校の資源(3) 学校財務論											
	10 学校の資源(4) 物的資源論											
	11 学校の資源(5) タイム・マネジメント論											
	12 学校の資源(6) ソーシャル・キャピタル論											
	13 現任校Aのマネジメントに関する報告											
	14 現任校Bのマネジメントに関する報告											
	15 現任校Cのマネジメントに関する報告											
ラーニング	A:知識の定着・確認	事例研究, グループ・ペアでの共同作業, 省察のためのコメントレポート, プレインストーミング, KJ法				工夫 その他						
	B:意見の表現・交換											
	C:応用志向											
	D:知識の活用・創造											
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	各回の授業の事前に配布される資料の熟読(2時間)。										
	事後学修	各回の授業内容の整理・省察を中心に、授業後のまとめを各自で行う(1時間)。										
教科書	授業時にレジュメを配布する。											
参考書	日本教育経営学会実践推進委員会編『次世代スクールリーダーのための「校長の専門職基準」』花書院, 2015年。											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組む姿勢、討論への参加等)	70%										
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	30%										
注意事項	本授業においては学校および教員集団のあり方を相対化して批判的に捉える力も求められる。よって、個人の経験を基盤に置きつつも、それを絶対化することなく、問い直す構えを重視すること。											
備考												
リンク	URL											